



MSD15-16003-**/4-NP

カラードフェンダー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ カラードフェンダーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

△注意 サイドスカート (MSD44-16001-XX/2-NP) ・リヤスパッツ (MSD43-16001-XX/2-NP) を同時装着する場合は、必ず「サイドスカート → カラードフェンダー (MSD15-16003-XX/4-NP) → リヤスパッツの順で取り付けてください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD15-16003-A0	プラチナムホワイトパールマイカ	カローラクロス '23.10～	
MSD15-16003-C1	スパークリングブラックパールクリсталシャイン		
MSD15-16003-C2	アティチュードブラックマイカ		
MSD15-16004-NP	未塗装品		

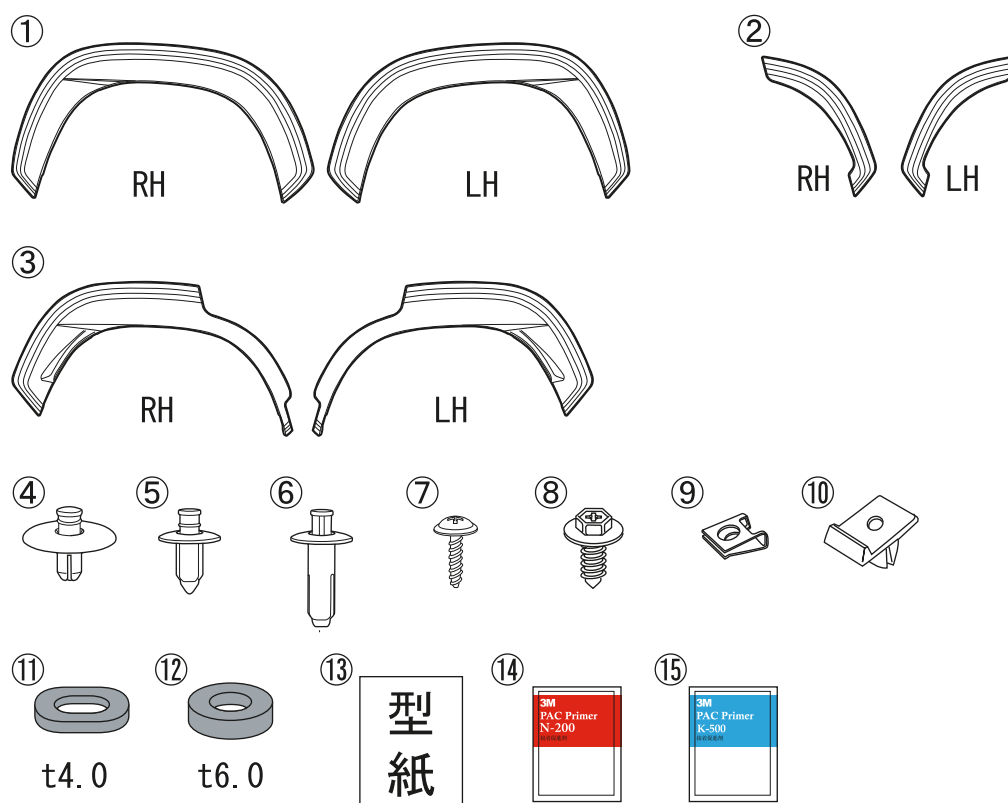
・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>



構成部品

No.	品 名	品 番	個数	備考
①	フロントピース (RH/LH)		各1	
②	リヤドアピース (RH/LH)		各1	
③	リヤフェンダーピース (RH/LH)		各1	
④	クリップA		2	
⑤	クリップB		4	
⑥	クリップC		2	
⑦	タッピングスクリューA (5×16)		2	
⑧	タッピングスクリューB (6×16)		4	
⑨	スピードナット		2	
⑩	グロメット		2	
⑪	ラバーワッシャーA (t=4)		4	
⑫	ラバーワッシャーB (t=6)		2	
⑬	型紙		1	
⑭	PACプライマーN-200		1	
⑮	PACプライマーK-500		1	

構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

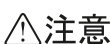
❌ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ❶ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❶ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❶ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❶ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❶ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考になしてください。)

- ❶❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❶ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❶ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❶ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ❶ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❶ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
4. 取付準備、取付要領 5～12
5. 取付完了後の点検・注意事項 12
6. 未塗装品の取扱いについて 13～14
7. 補修キットについて 15

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/7.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

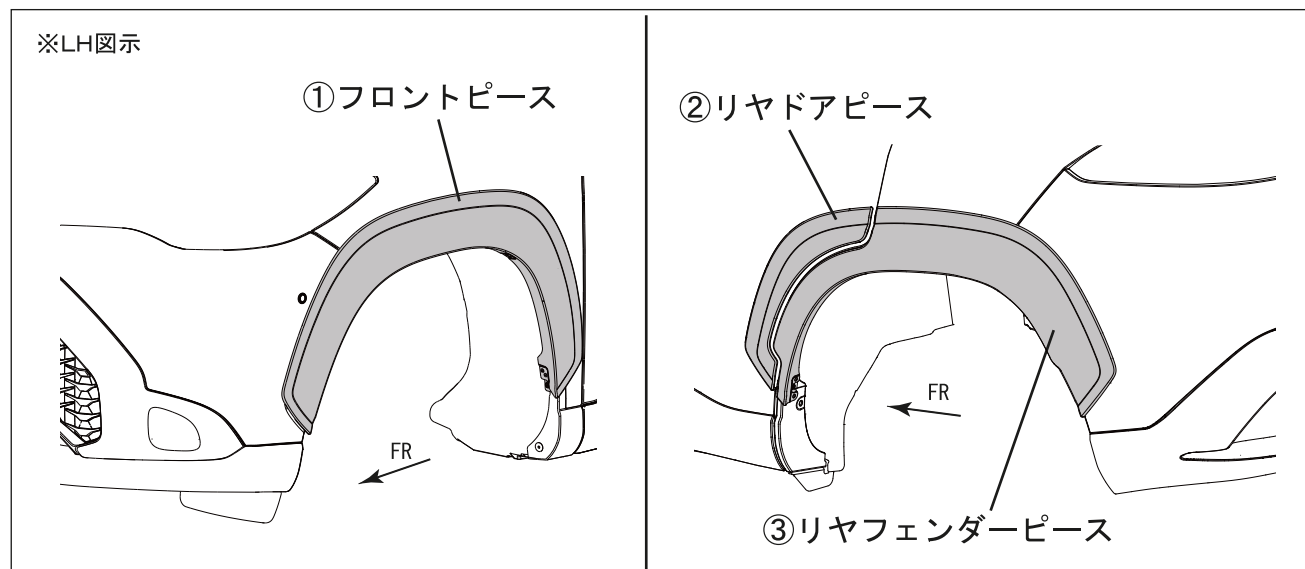
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

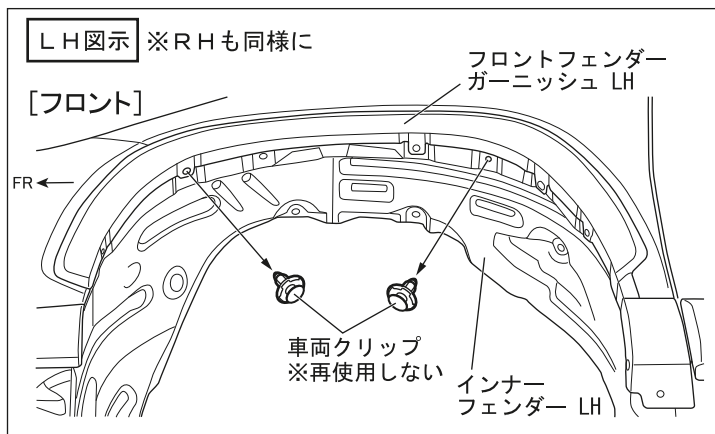
■ 取付構成図



■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□カラードフェンダー取付準備

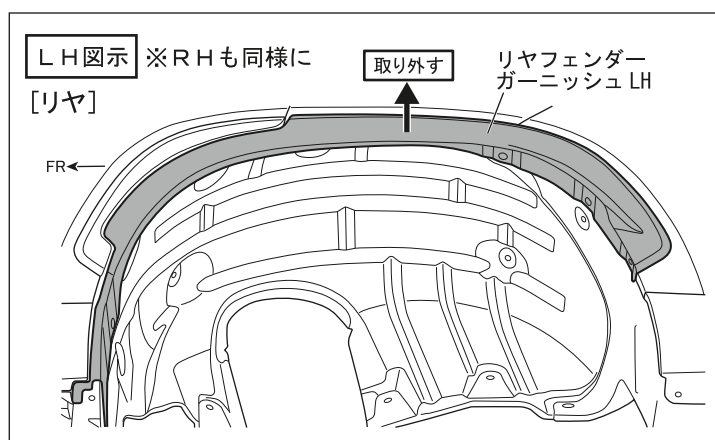


1. フロントフェンダーガーニッシュ、インナーフェンダーの左図位置の車両クリップを取り外す。（左右各2ヶ所）



アドバイス

- ・ 取り外した車両クリップは再使用しません。

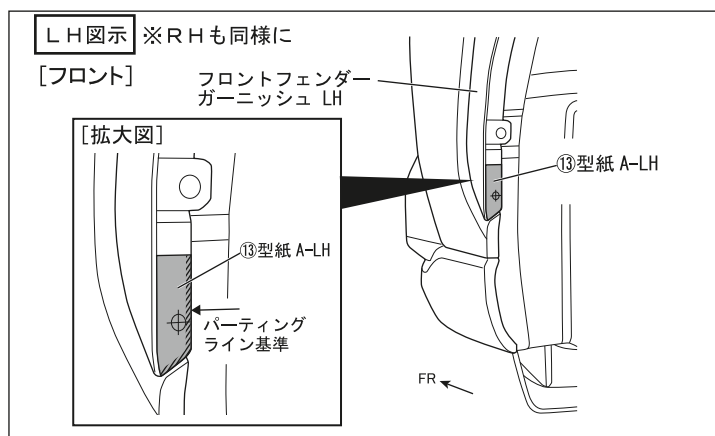


2. リヤフェンダーガーニッシュを取り外す。

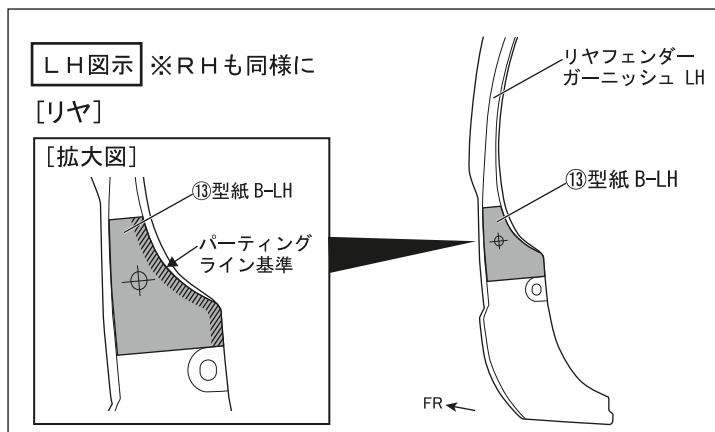


アドバイス

- ・ 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照してください。
- ・ 取り外した車両リヤフェンダーガーニッシュ、車両クリップ、ビスは一部再使用しますので破損や紛失にご注意ください。



3. フロントフェンダーガーニッシュの左図位置に⑬型紙Aを貼り付ける。（左右各1ヶ所）



4. リヤフェンダーガーニッシュの左図位置に⑬型紙Bを貼り付ける。（左右各1ヶ所）

L H 図示 ※ R H も同様に

[フロント]

フロントフェンダー
ガーニッシュ LH

⑬型紙 A-LH

φ3.0→φ7.0

FR ←

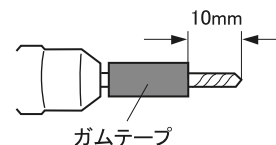
5. フロントフェンダーガーニッシュの⑬型紙Aの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を1ヶ所あける。

(ドリル φ3.0→φ7.0 左右各1ヶ所)



アドバイス

- 穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



ガムテープ

L H 図示 ※ R H も同様に

[リヤ]

リヤフェンダー
ガーニッシュ LH

⑬型紙 B-LH

φ3.0→φ7.0→φ10.0

FR ←

6. リヤフェンダーガーニッシュの⑬型紙Bの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を1ヶ所あける。

(ドリル φ3.0→φ7.0→φ10.0 左右各1ヶ所)

7. ⑬型紙A、Bを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各2ヶ所)

L H 図示 ※ R H も同様に

[リヤ]

リヤフェンダー
ガーニッシュ LH

FR ←

車両クリップ
※再使用しない

8. リヤフェンダーガーニッシュを復元する。
その際に左図の車両クリップは取り付けない。



アドバイス

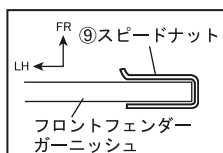
- 取り外した車両クリップは再使用しません。

L H 図示 ※ R H も同様に

[フロント]

フロントフェンダー
ガーニッシュ LH

⑨スピードナット



FR ←

9. フロントフェンダーガーニッシュのφ7.0穴に合わせて⑨スピードナットを取り付ける。
(左右各1ヶ所)

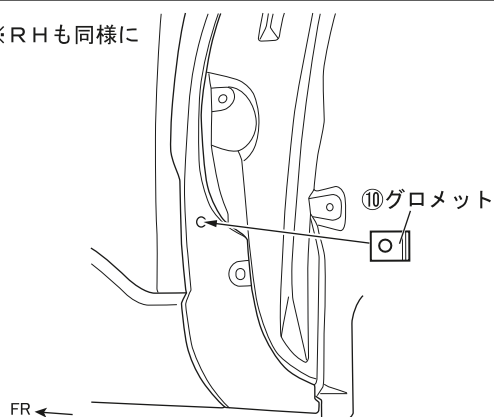


アドバイス

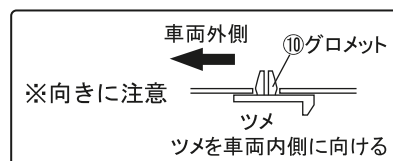
- ⑨スピードナットが動く場合はプライヤー等で軽く締め付けてから差し込んでください。

LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]

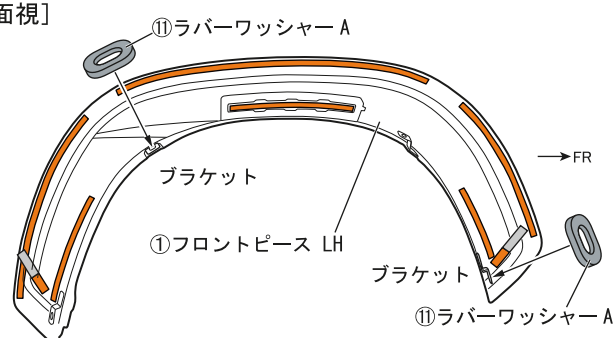


10. リヤフェンダーガーニッシュのφ10.0穴に⑩グロメットを取り付ける。(左右各1ヶ所)



LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



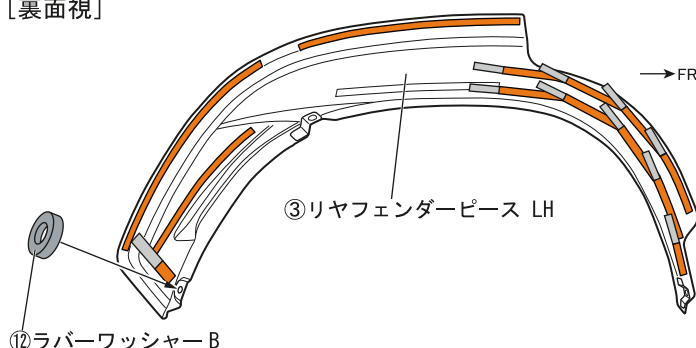
11. ⑪フロントピースの左図位置のブラケットに⑪ラバーワッシャーAを貼り付ける。

(左右各2ヶ所)

※ラバーワッシャー取り付けの際は、貼り付け部を脱脂してください。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

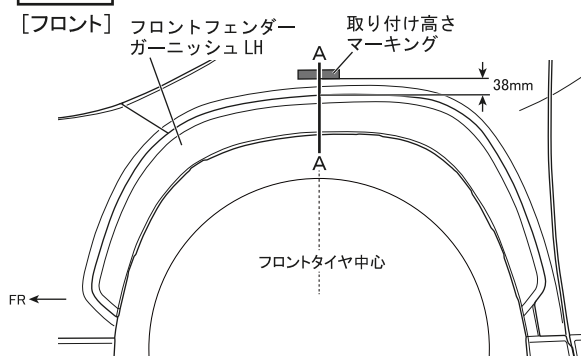


12. ⑫リヤフェンダーピースの左図位置に⑫ラバーワッシャーBを貼り付ける。(左右各1ヶ所)

※ラバーワッシャー取り付けの際は、貼り付け部を脱脂してください。

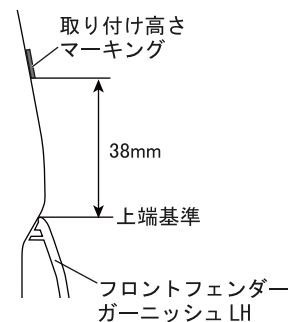
LH図示 ※RHも同様に

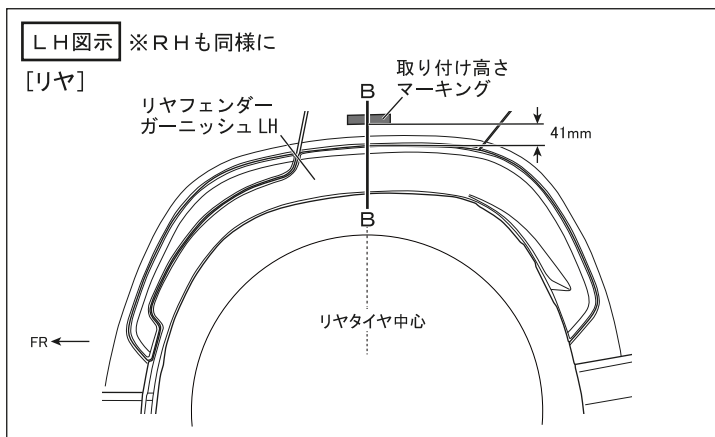
[フロント]



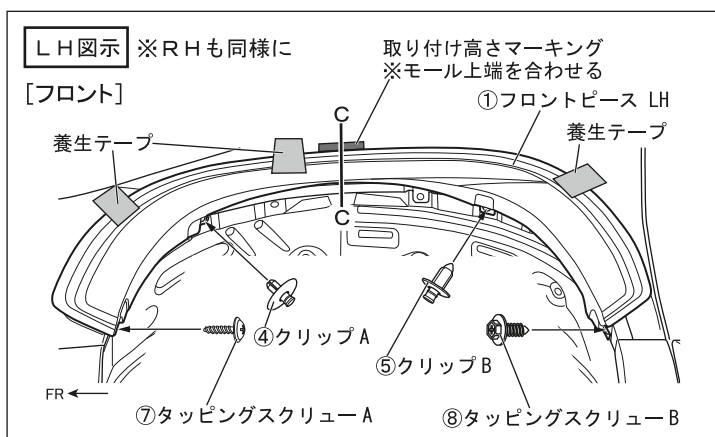
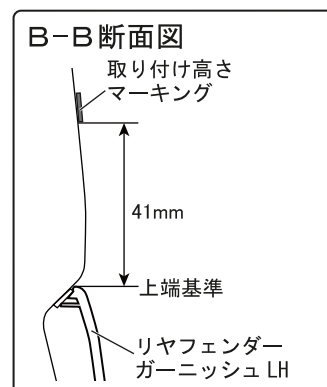
13. 車両側面に⑬フロントピースの取り付け高さ位置を左図寸法で計測し、マスキングテープでマーキングする。(左右各1ヶ所)

A-A断面図

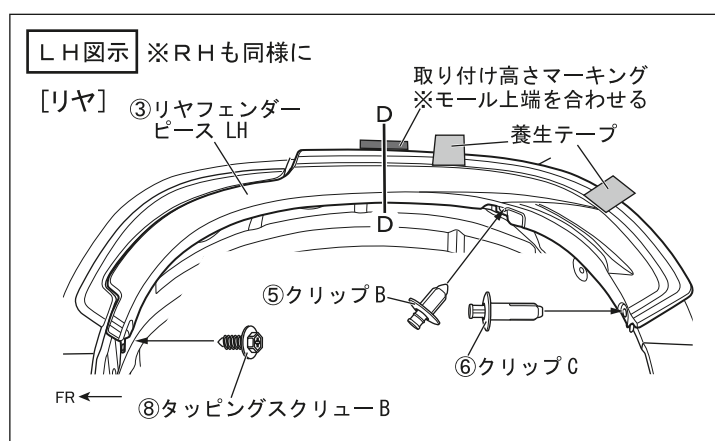
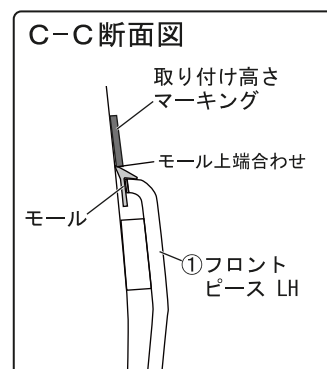




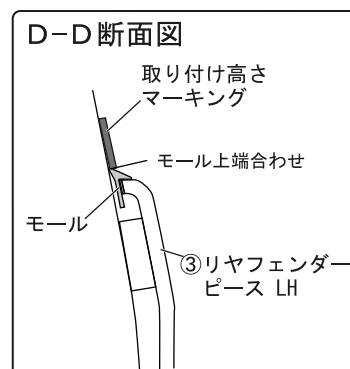
14. 車両側面に③リヤフェンダーピースの取り付け高さ位置を左図寸法で計測し、マスキングテープでマーキングする。(左右各1ヶ所)



15. 車両側面の取り付け高さマーキングに①フロントピースのモール上端を合わせて車両に仮当てし、④クリップA、⑤クリップBで固定後、⑦タッピングスクリューA、⑧タッピングスクリューBを仮締めし、養生テープで仮固定する。
(④⑤クリップ・⑦⑧タッピングスクリューは左右各1ヶ所)

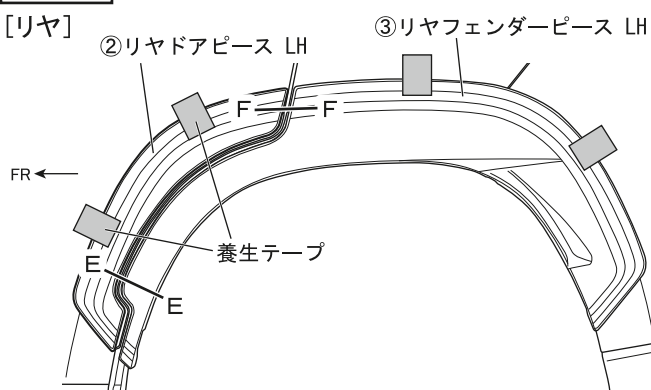


16. 車両側面の取り付け高さマーキングに③リヤフェンダーピースのモール上端を合わせて車両に仮当てし、⑤クリップB、⑥クリップCで固定後、⑧タッピングスクリューBを仮締めし、養生テープで仮固定する。
(⑤⑥クリップ・⑧タッピングスクリューは左右各1ヶ所)

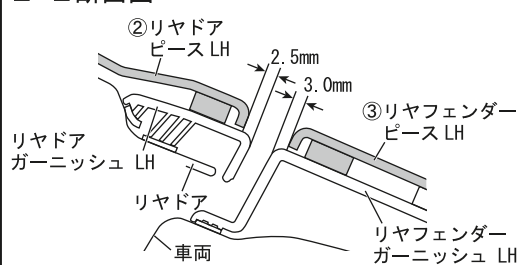


LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]

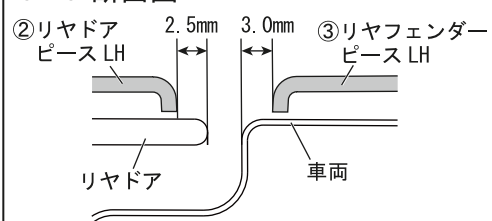


E-E 断面図



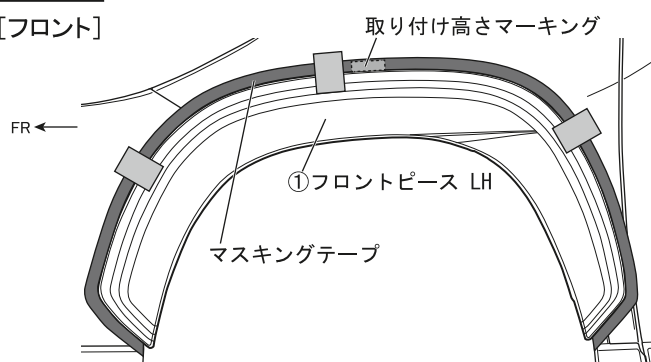
17. ②リヤドアピースを車両に仮当てし、養生テープ等で仮固定する。

F-F 断面図

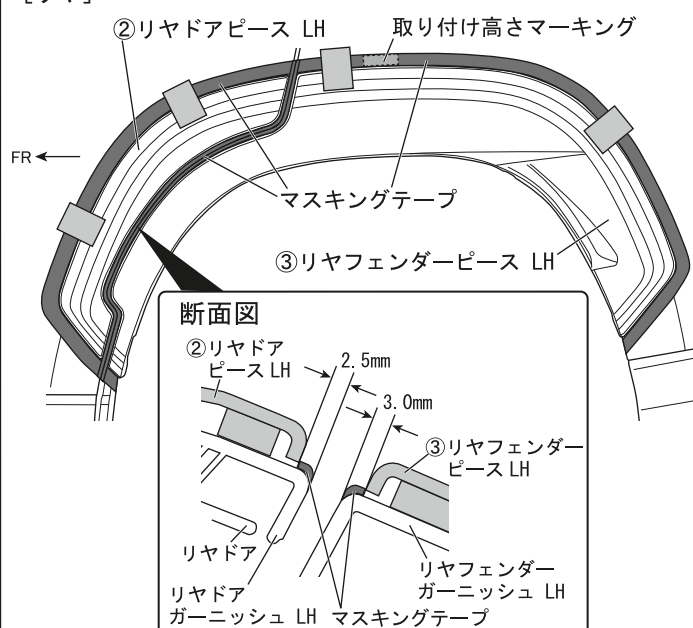


LH図示 ※RHも同様に

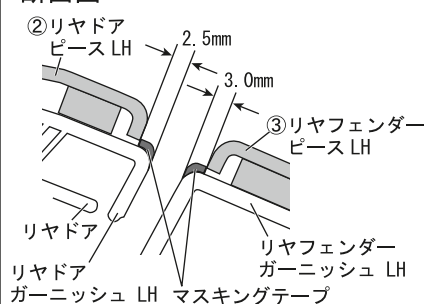
[フロント]



[リヤ]



断面図



18. 左図を参照し、①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース端末（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

19. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に

[フロント]

⑭プライマーN-200塗布範囲 (斜線部)
※塗装部分

取り付け高さマーキング

FR ←

⑮プライマーK-500
塗布範囲 (斜線部)
※素地部分

[リヤ]

⑭プライマーN-200塗布範囲 (斜線部)
※塗装部分

取り付け高さマーキング

FR ←

⑮プライマーK-500
塗布範囲 (斜線部)
※素地部分

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

①フロントピース LH

②リヤドアピース LH

③リヤフェンダーピース LH

20. 車両側面の左図斜線部を一方方向に拭いて清掃

- ・脱脂し、⑭PACプライマーN-200(塗装部分)、
- ⑮PACプライマーK-500(素地部分)を塗布する。



アドバイス

- ・PACプライマーN-200、K-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200、K-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

21. マスキングテープを剥がす。

※取り付け高さマーキングは剥がさないでください。

22. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。

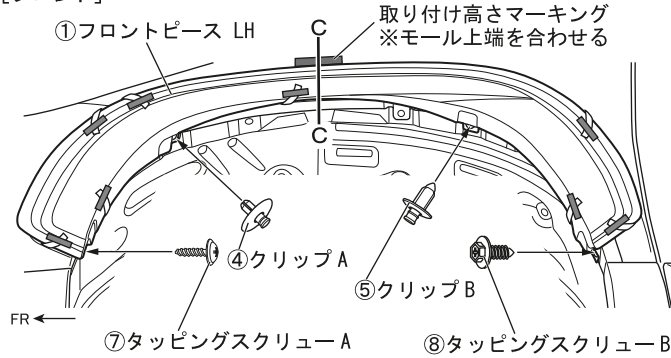
(①フロントピース 左右各8ヶ所 左図矢印部)

(②リヤドアピース 左右各6ヶ所 左図矢印部)

(③リヤフェンダーピース 左右各13ヶ所 左図矢印部)

■カラードフェンダー取付要領

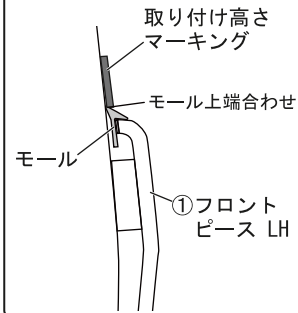
[フロント]



1. 車両側面の取り付け高さマーキングに①フロントピースのモール上端を合わせて車両に仮当てし、④クリップA、⑤クリップBで固定後、⑦タッピングスクリューA、⑧タッピングスクリューBを仮締めし、養生テープで仮固定する。

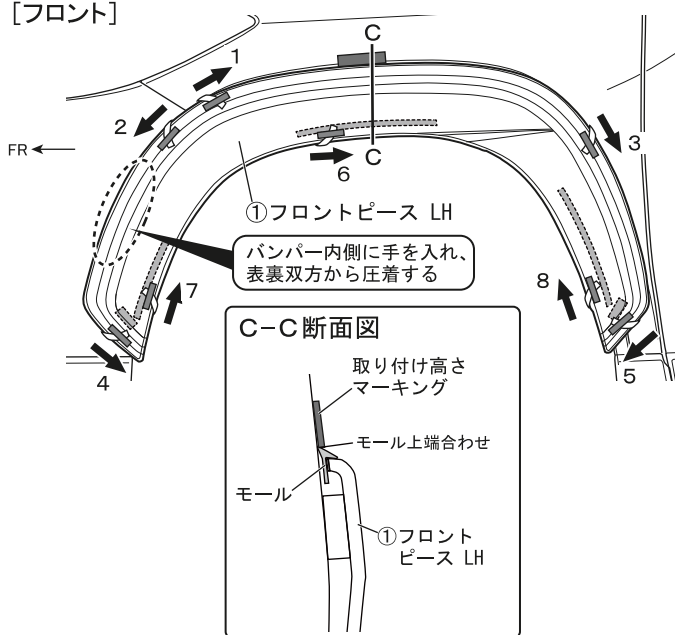
(④⑤クリップ・⑦⑧タッピングスクリューは左右各1ヶ所)

C-C断面図

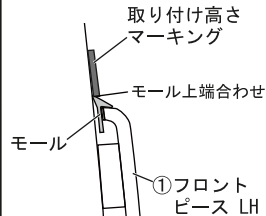


LH図示 ※RHも同様に

[フロント]



C-C断面図



2. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

アドバイス

- ・取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

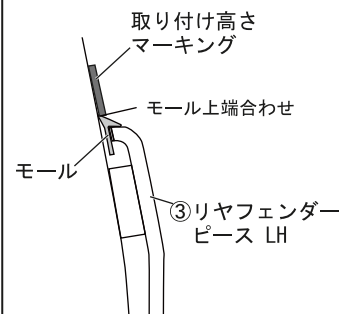
アドバイス

- ・離型紙を引き抜く際に途中で切れないように注意してください。

3. 車両側面の取り付け高さマーキングに③リアフェンダーピースのモール上端を合わせて車両に仮当てし、⑤クリップB、⑥クリップCで固定後、⑧タッピングスクリューBを仮締めし、養生テープで仮固定する。

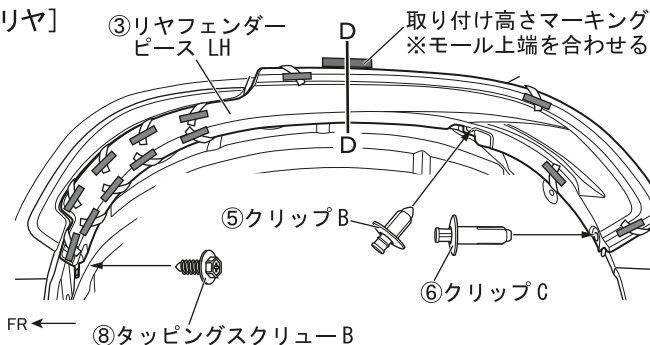
(⑤⑥クリップ・⑧タッピングスクリューは左右各1ヶ所)

D-D断面図



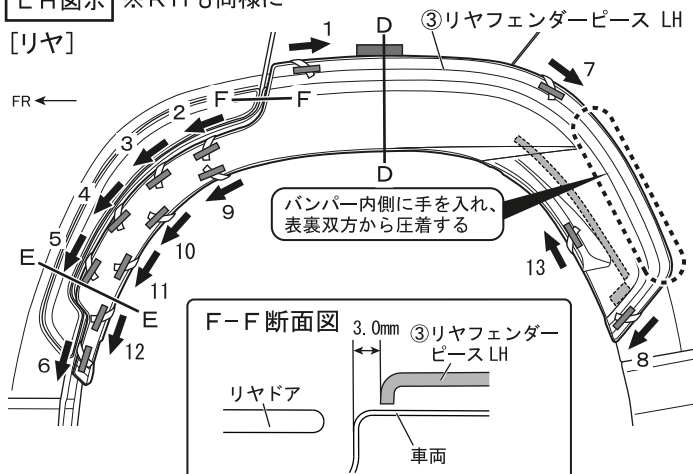
LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]

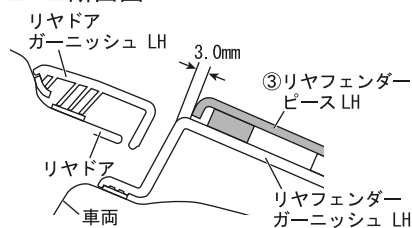


LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]

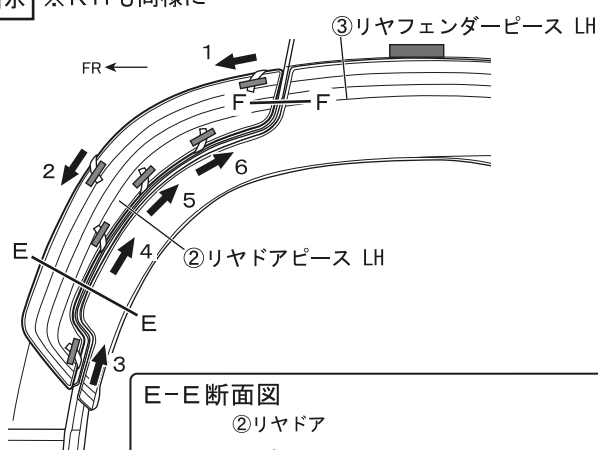


E-E断面図

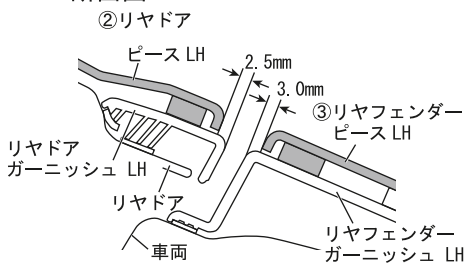


LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]



E-E断面図



4. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。



アドバイス

- 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 程度の力で行ってください。



アドバイス

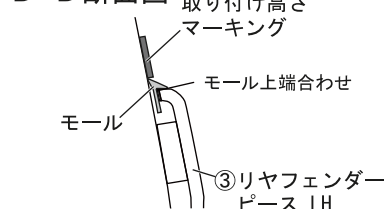
- 取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。



アドバイス

- 離型紙を引き抜く際に途中で切れないように注意してください。

D-D断面図



5. ②リヤドアピースを車両に仮当てし、両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。



アドバイス

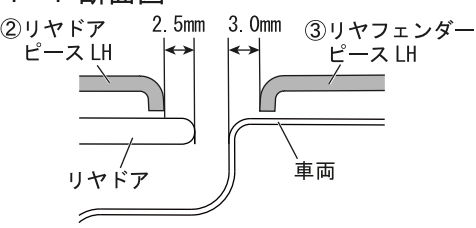
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 程度の力で行ってください。



アドバイス

- 取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

F-F断面図



6. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

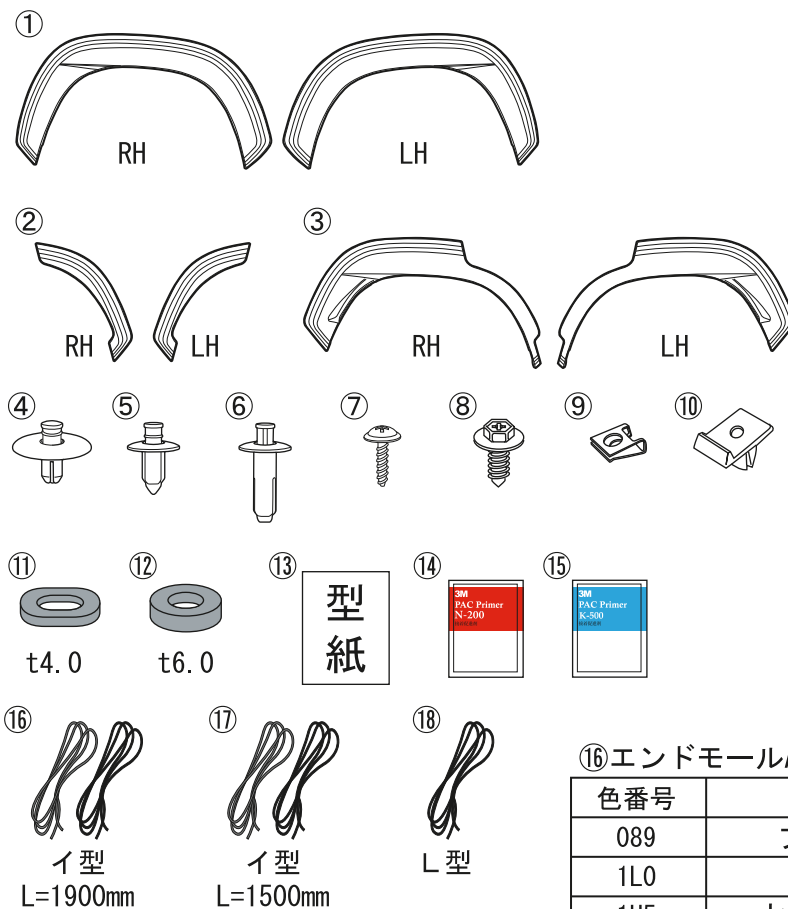
7. 取り付け高さマーキング（左右各2ヶ所）を剥がし、全ての⑦タッピングスクリューA、⑧タッピングスクリューBを本締めして作業完了。

■取付完了後の点検・注意事項

- 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等が無いことを確認してください。
- 車両及びカラードフェンダー廻りに傷が付いていないことを確認してください。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

カラードフェンダー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品 名	個数
①	フロントピース (RH/LH)	各1
②	リヤドアピース (RH/LH)	各1
③	リヤフェンダーピース (RH/LH)	各1
④	クリップA	2
⑤	クリップB	4
⑥	クリップC	2
⑦	タッピングスクリューA (5×16)	2
⑧	タッピングスクリューB (6×16)	4
⑨	スピードナット	2
⑩	グロメット	2
⑪	ラバーワッシャーA (t=4)	4
⑫	ラバーワッシャーB (t=6)	2
⑬	型紙	1
⑭	PACプライマーN-200	1
⑮	PACプライマーK-500	1
⑯	エンドモールA L=1900mm	グレー:3 ブラック:3
⑰	エンドモールB L=1500mm	グレー:1 ブラック:1
⑱	L型モール	ブラック:1

⑯エンドモールA、⑰エンドモールB 推奨使用色

色番号	色名称	モール色
089	プラチナムホワイトパール	グレー
1L0	シルバーメタリック	グレー
1H5	セメントグレーメタリック	グレー
1L6	マッシュグレー	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	ブラック
3T3	センシュアルレッドマイカ	ブラック
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

カラードフェンダーの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッション、ブラケットの表面（製品外側）をマスキングする。
3. プライマー塗装を行う。（本製品の素材は＞PPE＜です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

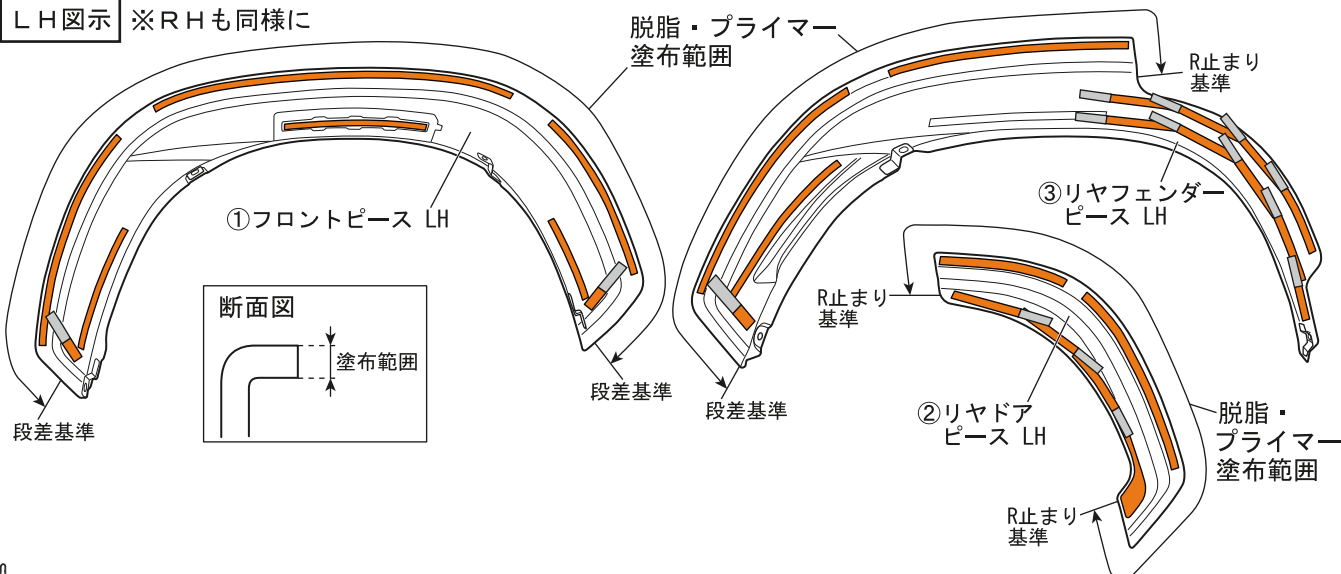
塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。

変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

プライマーの塗布

1. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの①⑥エンドモールA、①⑦エンドモールB、①⑧L型モール貼り付け部分を脱脂し、①⑤PACプライマーK-500を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



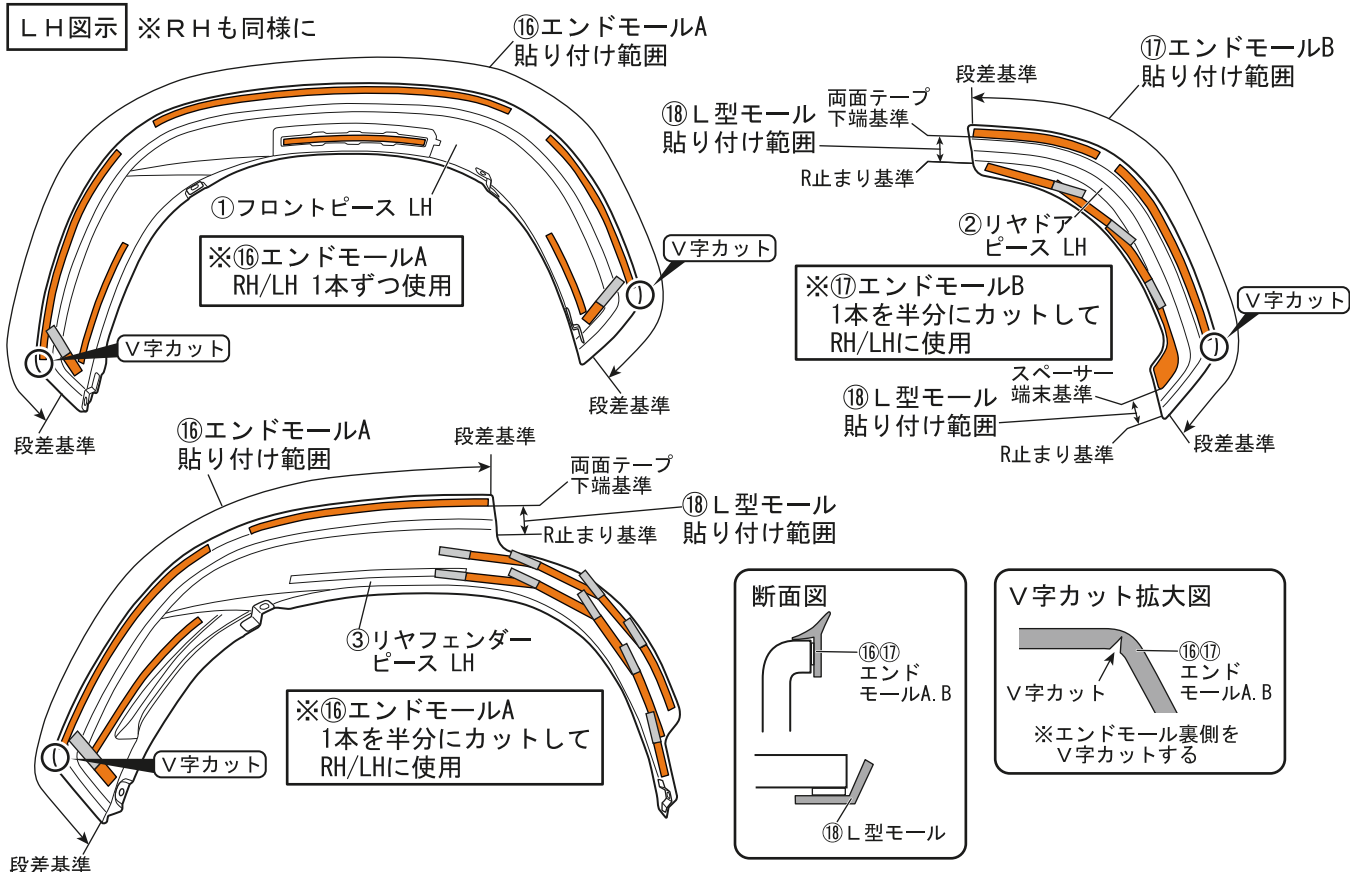
アドバイス

- ・PACプライマーK-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・PACプライマーK-500はカラードフェンダー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領で①⑥エンドモールA、①⑦エンドモールB、①⑧L型モールの貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

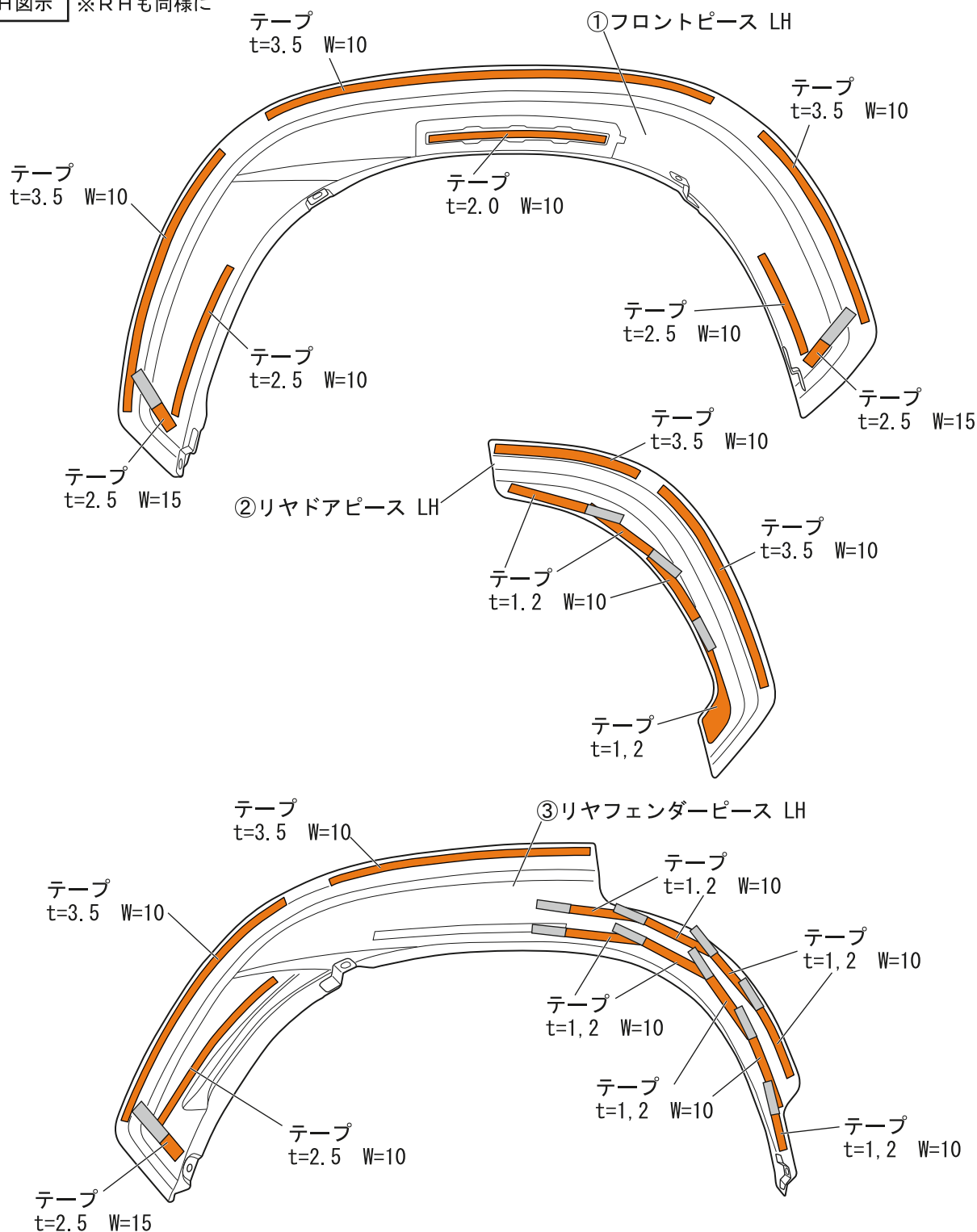


■ 補修キットについて

1. 補修キットを使用して①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500相当）を塗布する。

L H 図示 ※RHも同様に



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

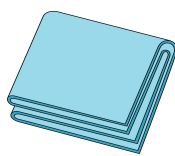


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。



★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



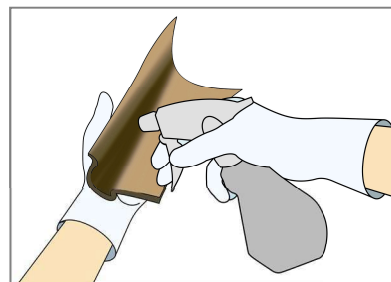
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

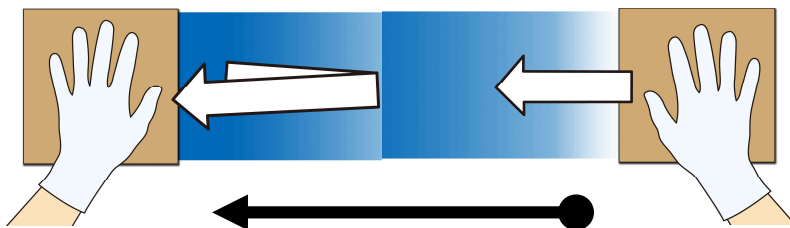
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 c m 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

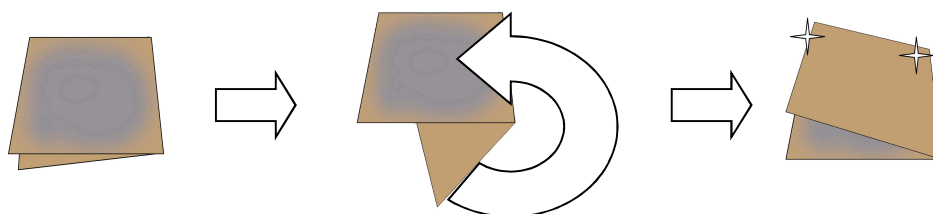
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスをもち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。